

# アンゴラ共和国月報

2017年9月号  
在アンゴラ日本国大使館

## 主な出来事

### 【総選挙関連】

- 6日に選挙最終結果が確定し、ジョアン・ロウレンソ前国防大臣が大統領に当選した。
- 野党が憲法裁判所に選挙結果に係る異議申し立てを行ったが却下された。
- 26日にロウレンソ大統領の就任式が執り行われ、日本からは総理特使として佐藤外務副大臣が出席し、その他コンゴ(民)、南ア、ルアンダ、ポルトガル等の元首が出席した。

### 【内政・外交】

- 28日、新政権の閣僚を任命した旨大統領府が発表を行い、新しく大統領府経済・社会開発大臣のポストが新設された。
- サマクヴァ UNITA 代表が辞任の意向を示した。
- 国連報告書は、アンゴラが北朝鮮から武器を購入している可能性があることに加え、北朝鮮がアンゴラに対し、軍事訓練を行っている可能性について指摘した。

### 【経済】

- B M I 英国コンサルタント社は、来年、アンゴラの商業銀行は経済危機から回復傾向にあるが、低経済成長の気運と低い流動性は今後も続く予想である旨発表した。
- Hua Dragão-Comércio Geral 社は首都ルアンダより30km離れたヴィアナ産業センターにおいて中華街の建設を実施。
- 過去8か月間においてルアンダの物価が17%上昇し、政府目標値の15.8%を上回った。

ラ

## 総選挙関連

### 1 CNEによる最終選挙結果通知

6日、CNE(選挙管理委員会)によって公表された最終結果によれば、各党の得票率は、MPLAが61.08%、UNITAが26.68%、CASA-CEが9.44%、PRSが1.35%、FNLAが0.93%、APNが0.51%であった(AP9/7)。

### 2 ロンドンからの祝辞

英国のローリー・スチュアート・アフリカ担当大臣は、ロウレンソ次期大統領の当選を温かく祝福し、平和的に選挙が行われたことに対しアンゴ

ラを称した。先週には、ブラジル、カメルーン、ギニア・ビサウ、ボツワナ、トーゴ、ザンビア、ギニア共和国、ベラルーシの各国首脳が同次期大統領に対し祝辞を送った(JA9/14)。

### 3 マクロン仏大統領、ロウレンソ新大統領に祝辞

マクロン仏大統領は声明文を発売し、新大統領の選出を祝福した上で、同国はアンゴラとのパートナーシップを強化し、両国はアフリカ大陸における平和と安全を確保するという共通の目標を共

有し、とりわけコンゴ民並びに中央アフリカにおける紛争解決のため対話を続けたい旨述べた。同声明において、仏国は、経済の多角化を目指すアンゴラと経済面、貿易面、また文化面等においてさらに関係を深めたいと発信した(JA9/15)。

#### 4 ロシア、ナミビア、GPLP、エジプトからの祝辞

プーチン露大統領はロウレンソ新大統領の成功を祈念するとし、同大統領が果たすアンゴラにおける平和の定着並びに民主化への役割の重要性を強調するとともに、アフリカ大湖沼地域の安定化への努力を期待するとした。ガインゴブ・ナミビア大統領は、祝辞の中でアンゴラは南アフリカアパルトヘイト政権との戦いを支援してくれた国であるとし、同国を「ナミビア人にとっての第二の家」と称し、二国間関係を深め、強化していきたい旨述べた。シルベイラ GPLP 事務総長は、アンゴラと GPLP 加盟諸国との歴史的なつながりを考慮した上で、同共同体の目標達成ならびに価値を再確認したい旨述べた。エルシーシ・エジプト大統領は、ロウレンソ新大統領と力を合わせ、歴史的二国間関係を発展させることに加え、国際・地域レベルにおいて、またアフリカ連合のレベルにおける共通の立場の修正を行っていききたい旨述べた(JA9/15)。

#### 5 憲法裁判所による野党の異議申し立ての棄却

13日、憲法裁判所判事は UNITA, CASA-CE, PRS 及び FNLA の野党4党による異議申し立てを根拠が無いとして却下し、6日に選挙管理委員会(CNE)によって発表された結果を官報に掲載することを許可した。憲法裁判所の判決は絶対的であり、これをもって終審となる(JA9/14)。

#### 6 UNITA 及び PRS による選挙関連書類の偽造

憲法裁判所は、UNITA が投票結果用紙や選挙人名簿コピーに偽造を施し、不正な形で入手されたものであり、PRS に関しても同党によって提出された投票結果用紙は偽造されていたとの判決を下した。検察は既に両野党による書類偽造について報告を受けており、刑法によると書類偽造の罪は6ヶ月から3年の懲役もしくは60日から360

日分の罰金刑、公的書類の偽造した場合には5年の懲役が科せられる可能性がある(JA9/14)。

#### 7 野党4党による共同声明

21日に発出された野党4党による共同声明の中で、UNITA, CASA-CE, PRS, FNLAの4党は、与党MPLAによる汚職、劣悪な管理体制、無駄、貧困の悪化、自由に反する専政政治及び社会的排除に対し、国会を民主的な戦いの場として位置づけている旨述べた(JA9/22)。

#### 8 ロウレンソ新大統領就任式

26日、新大統領就任式が執り行われ、ロウレンソ大統領が就任演説を行った。同式典には総理特使として佐藤外務副大臣が出席し、式典終了後ロウレンソ大統領と会談を行った。その他出席者の中で特記すべきは、アフリカ諸国の中では、コンゴ(民):カビラ大統領、南ア:ズマ大統領、ルワンダ:カガメ大統領、ナミビア:ゲインゴブ大統領他、アフリカ域外からは、ポルトガル:ソウザ大統領、中国:陳元全国政協副主席、東ティモール:グテーレス外務大臣、イギリス:ノースオーバー・アフリカ担当特使他が出席(JA9/27)。

#### 9 ロウレンソ新大統領就任演説

26日の大統領就任演説においてロウレンソ大統領は、ドス・サントス前大統領は非凡な勇気と愛国心をもってアンゴラの国家統合・和平を成し遂げたと述べた。また、経済外交を推進し、財・サービスの輸出や外国直接投資の誘致を推し進めると共に、政府介入を減らし民間セクターのイニシアティブに委ねていく方針を強調した。これに加え、米国、中国、ロシア、ブラジル、インド、日本、ドイツ、スペイン、フランス、イタリア、英国、韓国等を重要なパートナーとして挙げ、関係強化に努めると述べた(JA9/27)。

#### 10 官報による大統領並びに副大統領の当確通達

14日付けの官報において、選挙結果が掲載され、ロウレンソ大統領及びソウザ副大統領の当確が布告された。また、同官報にて当選国会議員名簿が掲載された(JA9/15)。

## 内政

### 1 旧国会議事堂が音楽ホール兼劇場に

旧国会議事堂を音楽ホール兼劇場に再活用する計画を巡り、建設相が取り仕切り、各省からの代表が参加するマルチセクター委員会が大統領決裁により創設された。同国議事堂の再利用計画は、建築様式及び歴史的観点から有効利用する目的で、旧議事堂に社会的、文化的有用性を与えようとする試みである(JA9/6)。

### 2 新政権の閣僚名簿発表

28日、ロウレンソ大統領が新政権の閣僚を任命した旨大統領府が発表を行った。一部の省統合が実施され、35あった閣僚級ポストが31に減少し、新しく大統領府経済・社会開発大臣のポストが新設された。主な人事ではアウグスト前外務副大臣が外務大臣に昇格し、ブラガンサ前外務副大臣がホテル・観光大臣に就任した(JA9/29)。

### 3 サマクヴァ UNITA 代表が辞任の意向

サマクヴァ同党代表は辞任の意向を表明した。後任として名前が挙がっているのは、ラウル・ダングダ同党副代表、アダルベルト・ダ・コスタ元同党国会議員団長及びスポークスマン、UNITA 創始者の息子であるマサンガ・サビンビ氏、リバティ・シヤカ同党ウアンボ州支部代表であり、次期代表には UNITA に新しい息吹を与えることが期待される(EIU9/29)。

## 外交

### 1 アンゴラ、インドネシア間のビザが不要に

1日付の官報によれば、大統領決裁により、両国間の外交旅券並びに公用旅券保持者に対し、それぞれ30日、6か月間のビザ免除措置がとられることになった。この合意は4月にジャカルタで行われたシコティ・アンゴラ外相とモルスディ・インドネシア外相との間で署名がなされた。なお、一般旅券保持者は査免対象ではない(JA9/11)。

### 2 インド・アンゴラ関係

ルアンダにて開催された国際貿易と輸出に関する企業育成セミナーの開会に際し、在アンゴラインド大使は、過去5年の間、同国はアンゴラに対

し1億1500万米ドルを超える投資を行っており、これらの投資は産業、農業、鉄道セクターにおいて顕著である旨述べた。また、同大使はインドにおけるエンジニアリングのコース受講のため、30名のアンゴラ人に対し奨学金を供与しているとも明らかにした(JA9/20)。

### 3 コンゴ共和国大統領の訪問

4日、ンゲソ・コンゴ共大統領はアンゴラを訪問し、ドス・サントス大統領に表敬を行った。表敬後の記者会見においてンゲソ大統領は、ドス・サントス大統領が残した最大の偉業は平和であり、アンゴラにおける一時代を築いたと強調した。両氏はコンゴ(民)及びブルンジ情勢についても意見交換を行った(JA9/5)。

### 4 北朝鮮・アンゴラ関係

#### (1)北朝鮮から武器を輸入している可能性

国連の専門家8人による調査チームが発表した報告書によると、アンゴラは国連が決議した禁輸措置を無視し、北朝鮮から武器を購入している可能性があるとして指摘された。アンゴラが北朝鮮の禁輸措置逃れを支援しているとして指摘を受けるのは今回が初めてではない(NJ9/11)。

#### (2)北朝鮮との軍事協力

国連の発表した報告書によれば、アンゴラ大統領警備隊並びにその他の部門が、北朝鮮による軍事訓練を受けている疑いがある点を指摘した。本件についてアンゴラ側からはまだ回答が得られていない(NJ9/11)。

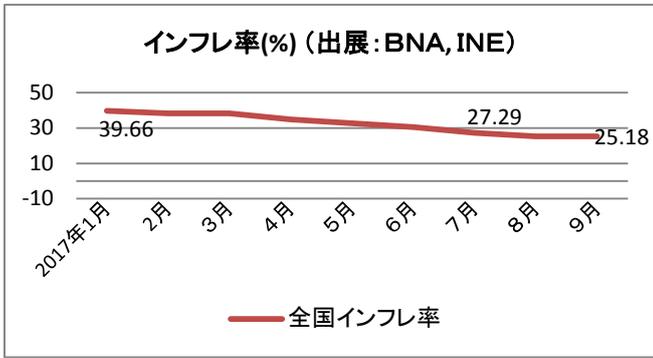
## 経済

### 1 主要経済指標

#### (1)物価

ア 国家統計院(INE)が発表したアンゴラ全国版の9月時点での年間インフレ率は、25.18%だった。月間物上昇率は2.14%。

イ 物価指数が前月比で最も上昇したのは、衣料品(3.91%)、アルコール類及びたばこ(3.56%)、保健(3.55%)、動産、家具、維持管理(3.11%)。

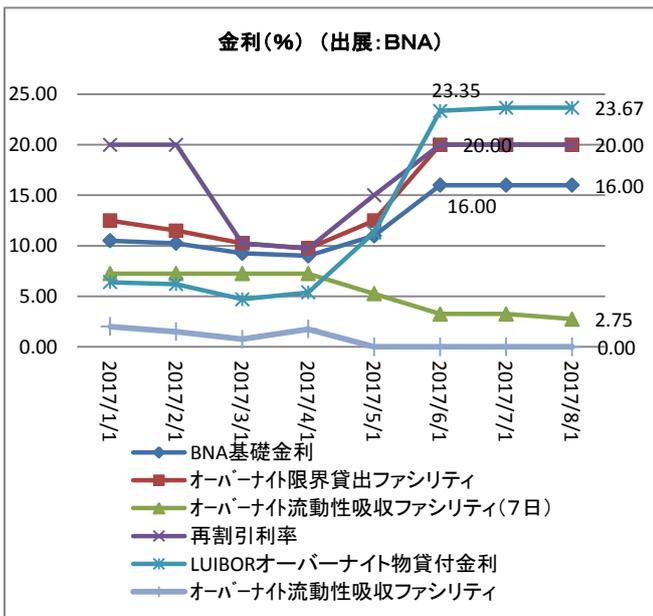


## (2) 金利

ア 9月29日に開催された第68回金融政策委員会(CPM)は、政策金利の BNA 基礎利率(Taxa BNA)は、年率 16.00%と前月から維持と発表。

イ 流動性吸収ファシリティ(市中銀行がBNAに預けている準備預金のうち、法定額を超過した部分に対する利率)は年率 3.25%から 2.75%に 0.5%減少。

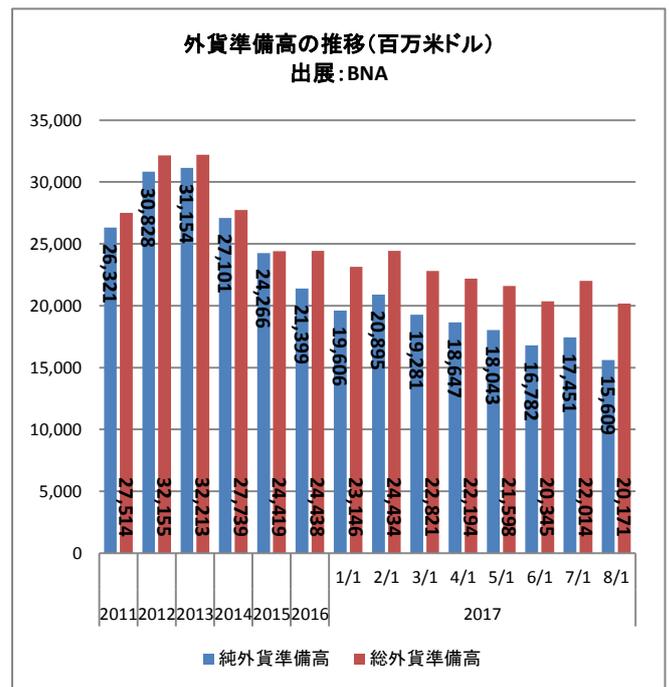
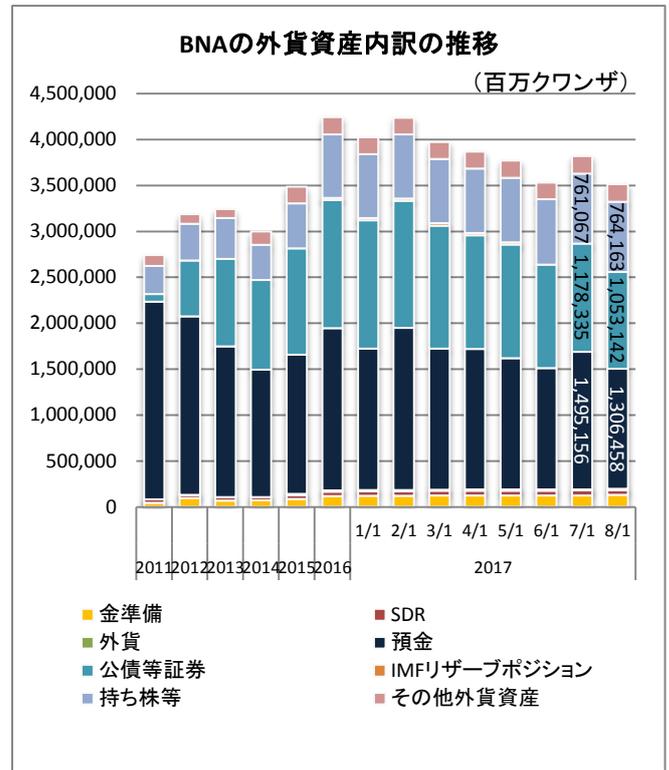
ウ 限界貸出ファシリティ(BNA から市中銀行へのオーバーナイト物貸付金利)は年率 20.00%で前月と変わらず。



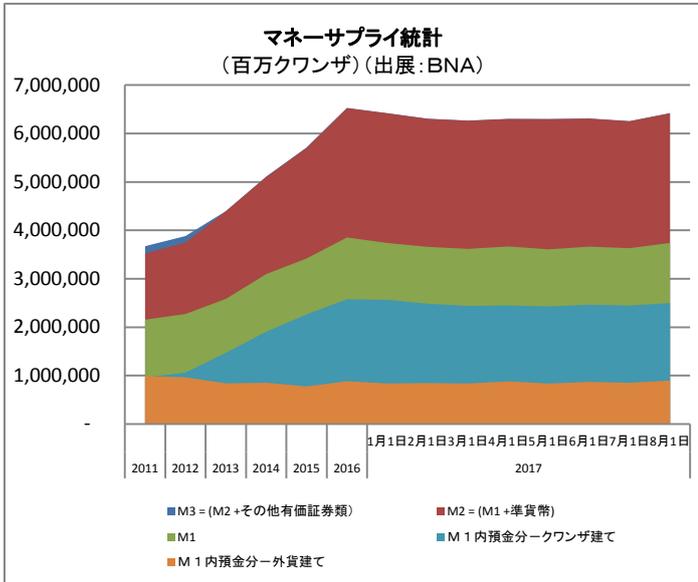
## (3) 為替市場

9月、為替相場は1 USD = 165.096AKZ で推移(前月比 0.001 クワンザ高)。

## (4) BNA 発表の外貨準備高統計

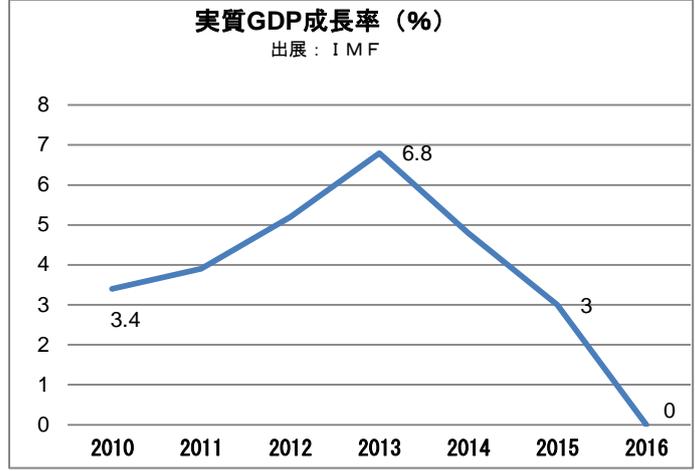
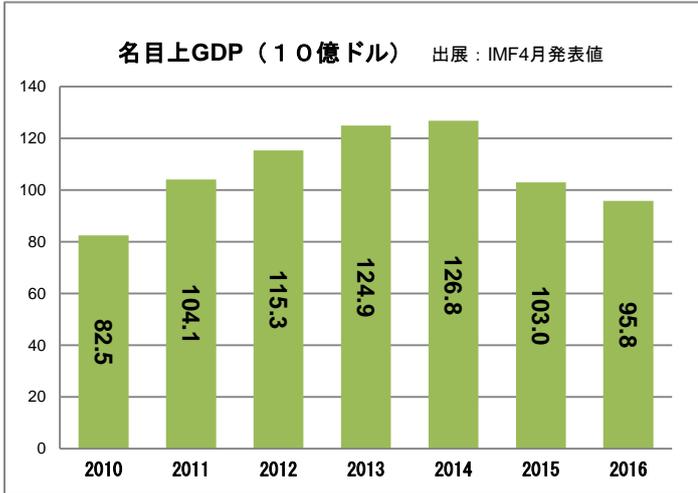


## (5) マネーサプライ統計

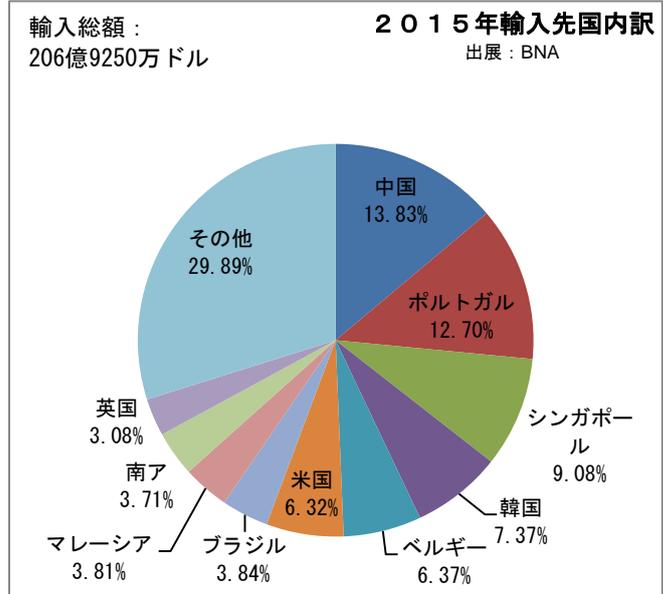
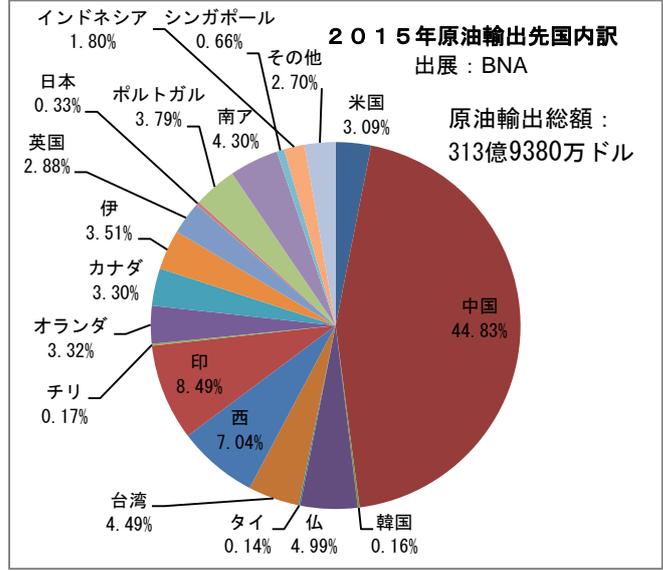


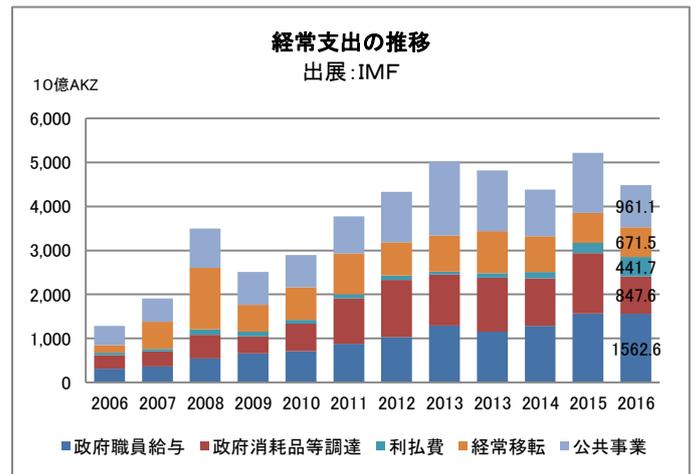
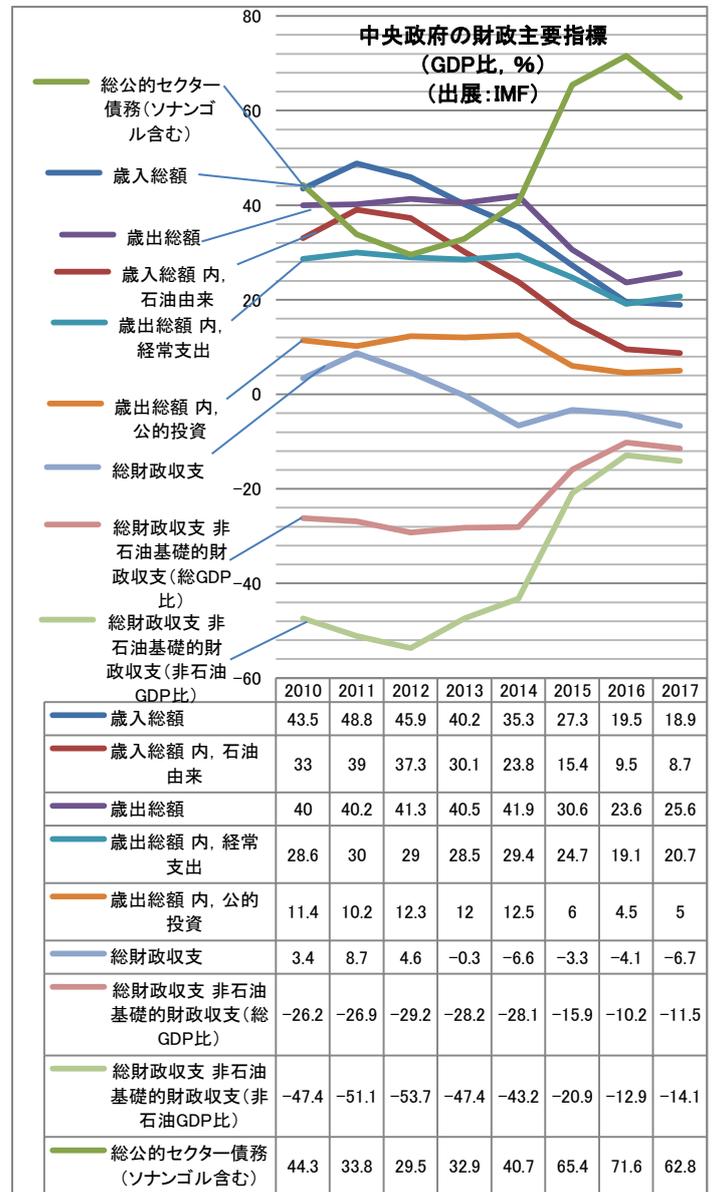
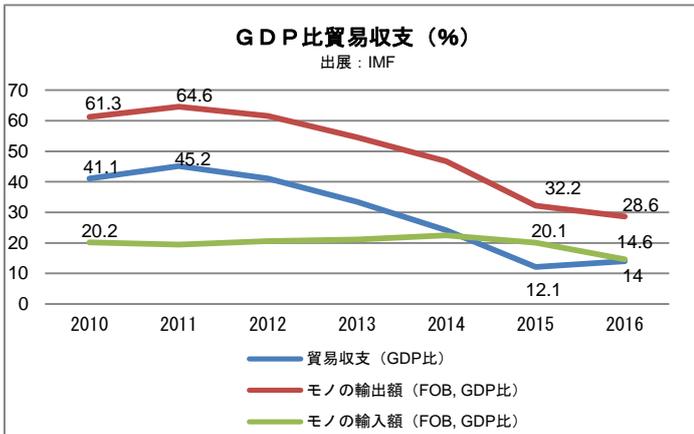
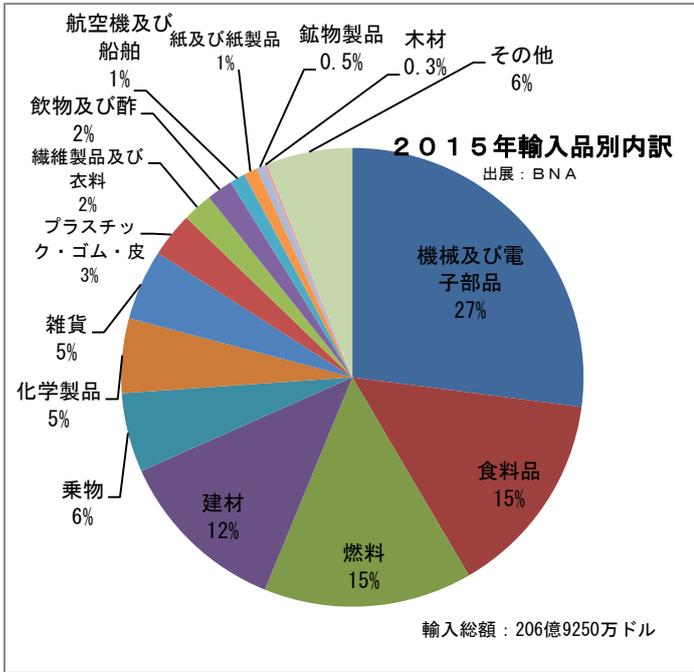
2017	2月1日	3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	百万クワンザ
	6,307,030	6,267,569	6,303,541	6,300,288	6,311,111	6,256,880	6,421,837	M3 = (M2 + その他有価証券類)
	6,303,125	6,264,311	6,300,258	6,296,969	6,307,748	6,253,470	6,417,273	M2 = (M1 + 準貨幣)
	3,659,028	3,617,637	3,667,562	3,608,452	3,663,967	3,631,631	3,740,412	M1
	329,595	341,031	338,915	344,557	330,052	332,938	344,398	M1 内現金等流通分
	3,329,432	3,276,606	3,328,647	3,263,895	3,333,915	3,298,693	3,396,014	M1 内預金分
	2,484,321	2,439,544	2,447,554	2,428,556	2,463,959	2,447,134	2,497,737	M1 内預金分-クワンザ建て
	845,112	837,063	881,093	835,339	869,956	851,559	898,277	M1 内預金分-外貨建て

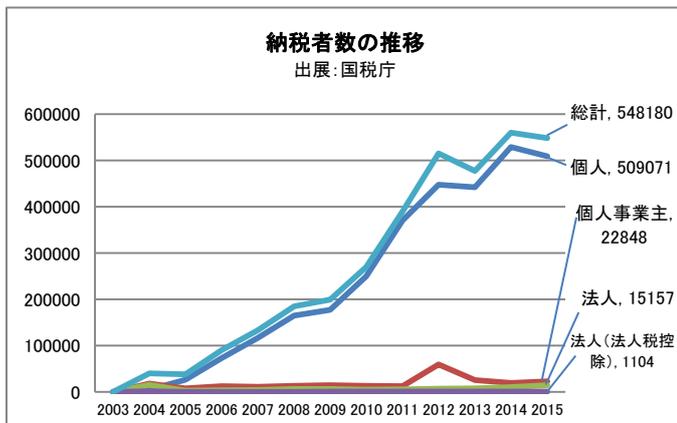
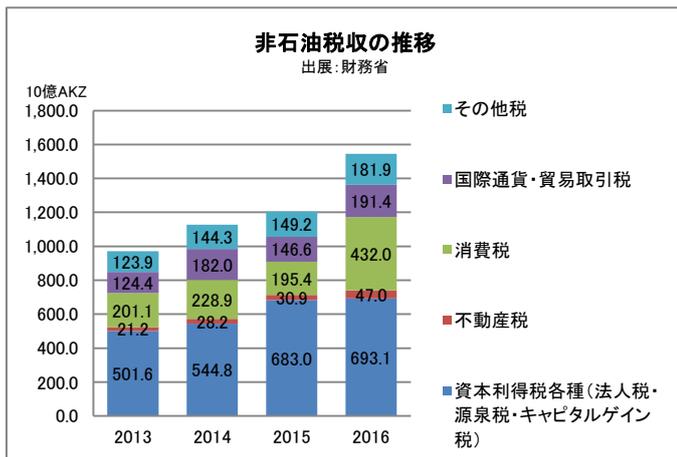
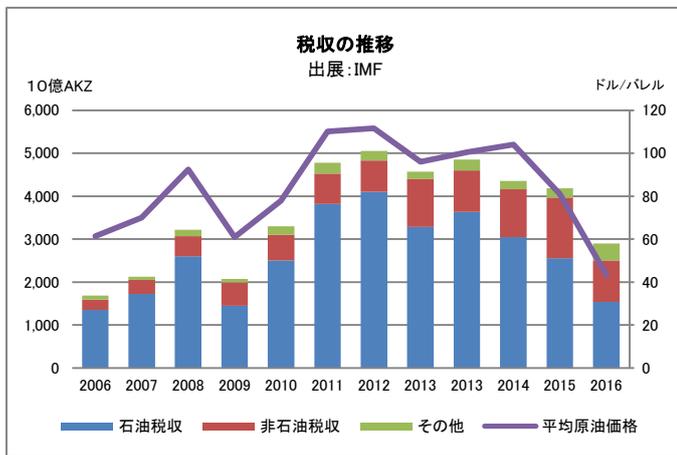
### (6) GDP及び成長率



### (7) 主要貿易統計







## 2 ルアンダ不動産の供給過多

ルアンダに拠点を置く不動産コンサル会社である Abacus が発表した報告書によれば、2016年の空き事務所を示すレートは約20%を記録し、2年前の8%から増加した。同報告書によれば、石油価格の下落を受け、国内で働く外国人労働者の数が減少し、高級アパートやヴィラ等も供給過多となっている(EIU/9)。

## 3 第22回マカオ国際見本市

10月19日～21日の間、アンゴラは第22

回マカオ国際見本市(MFI)に参加する。見本市参加を後押しするため、アンゴラ投資貿易促進庁(APIEX)とアンゴラ企業連盟(CAE)の2団体はルアンダにおいて協力協定に署名した。ヴィアナCAE代表によれば、見本市には食料、石油、工業産業セクターに加え、商業、ホテル、観光、文化分野の企業が参加する。また、同見本市は、中国・ポルトガル語諸国開発協力基金の融資プロジェクト選定の際となる(JA9/14)。

## 4 Angola LNG社、ガスをドイツに輸出

Angola LNG社は、ドイツに本社を置き、オランダおよび英国にも基盤を持つエネルギー専門商社であるRWEST社との間で販売合意に達し、RWEST向けに世界各国のポイントでガスを補給調達することとなった。Angola LNG社は最近、同様の契約をオランダ系で世界的にエネルギー製品の商業化、流通を担うVitol社とも結んでいる(JA9/14)。

## 5 第一四半期の輸入量が減少

運輸省貨物運輸委員会(CNC)によると、第一四半期における輸入量が、151万6748.79トンであり、前年比で5.13ポイント落ち込んだ。経済学者であるルイ・マラキアス氏によれば、今回の輸入量の下落はアンゴラ中央銀行(BNA)が、企業に対する外貨の貸付に規制をかけ、原材料、製品、消耗品の輸入が制限されたことが挙げられる(JA9/13)。

## 6 UNHCR、アンゴラの難民受入状況を称賛

ウェリントン・カルネイロUNHCR難民担当高等弁務官は、他省間横断委員会の来訪を受け、ルンダ・ノルテ州、ロヴァに常設されている難民センターへのコンゴ(民)難民の移転について満足しており、世界全域における難民の数が増加しており、難民受入れに対する風当たりが強くなっている現在において、アンゴラ政府の難民に対する結束の意を評価するとした。同難民担当高等弁務官は、アンゴラはポルトガル語圏諸国の中でも最大の難民受入れ国となっている点を強調した(JA9/11)。

## 7 商業銀行の成長率、上向き予測

格付け機関である Fitch Ratings コンサルタント社の関連企業である BMI 英国コンサルタント社は投資家向けのレポートの中で、2018年、アンゴラの商業銀行は経済危機から回復傾向に向かうが、低経済成長の気運と低い流動性は今後も続く予想である旨発表した。この要因として、今年の下半期において、石油セクターの見通しが明るいことに加え、いくらかの国営銀行の再編成が進み、2018年末には9.8%の資産成長が見込まれるとした。他方で銀行セクターは現在不況にある石油産業への依存により依然脆弱であり、今年7月までの過去12ヶ月における銀行セクターの成長率は2.7%と、少なくとも2012年から数え最も低い数値で推移した。同社のアナリストは、4.1%とされた2018年のアンゴラの経済成長率を「明らかに高い (Marcadamente Acima)」とし、同数値を2%に下方修正した。また、これらの成長は一過的なものであり、2019年には石油の生産は減少傾向に転じると付け加えた。(JA9/14, 15)。

## 8 商活動の取締り強化

11日、アンゴラ国税庁はルアンダのキフィカ並びにカンティントン市場において、国民によるインフォーマルな商業を取り締まるため、登記及びインフォーマルセクターで働く商人の現状調査を行うキャンペーンを始めた。同キャンペーンは今後全国レベルで展開される見込み(JA9/14)。

## 9 加企業、ダイヤモンド産業に参入

12日、バンクーバーに本社を置く Tango Mining 社は Cooperativa Exploração Semi-Industrial de Diamantes Txapemba 社と三年間の契約を結びルアンダ・スル州、ルエンベ川流域におけるダイヤモンド採掘のため、アンゴラ市場に参入する旨声明文を通じて発表した。Cooperativa 社は84平方kmのダイヤモンド準産業用地の利権を所持しており、Tango 社はダイヤモンドの採掘及び資本供与面を任される。同社は売り上高の6割を享受し、運営コストに関しては減額措置を受ける(JA9/14)。

## 10 物価上昇率の増加

過去8か月間においてルアンダの物価が17%上昇し、政府が通年で目標値としていた15.8%を上回った。エспанサオン紙の計算によれば、政府が目指しているように、今後も月あたり1.5%の物価上昇が続けば、2017年の年間インフレ率は24.2%に達する見通し(EX9/15)。

## 11 OPEC、生産規制継続を検討

石油生産規制の合意期間が現在設定されている2018年3月を超えて延長されることが検討される。この決定は、生産削減の実施状況、リビア並びにナイジェリアでの生産の回復、米国におけるシェールオイル及び世界的需要に左右される。OPECの最新報告書によれば、同カルテルの8月の平均生産量は、日産3275万5千バレル。8月のアンゴラの生産は日産164万6千バレルで7月に比して若干の増産となった(EX9/15)。

## 12 Angola LNG 社が新受注契約締結

Angola LNG は、総合商社の Glencore と LNG 供給に関する契約を結んだ。契約内容の大部分は明らかにされていないものの、同契約はアンゴラが外貨を受け取るための好機であり、これが起爆剤となり、ガスライセンス法に関する説明が行われることが期待される(EIU9/22)。

## 13 アンゴラ・中国経済関係

### (1) 中華街建設計画

Hua Dragão-Comércio Geral 社は首都ルアンダより30km離れたヴィアナ産業センターにおいて中華街の建設を行う。同社は不動産業、工業、商業、輸出入業においてアンゴラでも突出した存在であり、ルアンダの非正規市場に取って代わり、正規の市場を確保するねらいがある。現在第一段階である商業エリアが完成間近であり、第二段階では、住宅エリア、産業エリア、倉庫エリアの完成を目指し、最終段階では小規模な工場を敷地内に設置する予定(JA9/22)。

### (2) 中国企業の建設セクターへの投資

過去一年間において、10を超える投資契約が中国と結ばれ、総額は1100万米ドルを超える。このなかには、中国クレジット・ライン(LCC)を通じた公共投資支援も含まれるとした(PA9/22)。

### (3) アンゴラ・中国の労働組合が協定を結ぶ

アンゴラの労働組合である UNTA-CS と中国国家労働組合連盟がアンゴラで活動する中国企業を管理するための協定を結んだ(AP9/27)

### (4) 対中国貿易の成長

Fórum de Macau が公表した公式データによれば、今年1月～7月間の二国間の貿易総額が1337万8千ドルを記録し、昨年度の同時期に比して48.61%の成長を記録した。この内、アンゴラの中国への総輸出額は1212万9千ドル

(前年比32.47%△)、輸入総額は124万9千ドル(前年比50.50%△)であった(JA9/14)。

### (5) 中国のアンゴラ産原油輸入量が増加

8月の中国のアンゴラ産の原油、鉄鉱石、銅輸入量が前年同月比で増加したと中国税関総署の初期調査が明らかにした。原油は3.4%増加し、3398万トン、鉄鉱石は1.1%増加し、8866万トン、銅は11%増加し、39万トンの輸入量を記録した(JA9/9)。

---

JA: Jornal de Angola, EX: Expansão, MH:Macau Hub, DN: Diario de Noticias, NJ: Novo Jornal, VOA: Voice of America, CK: Club-K, AA: All Africa, AN:Ango Notícias, OBS: Observador, AP: Angop, A024:Angola 24 horas, FT: Financial Times, PA: Portal de Angola, EIU: Economist Intelligence Unit